



Microsoft Remote Desktop を使用した Cisco Unity Connection サーバの管理

制限事項

Microsoft Remote Desktop は、リモートで Cisco Unity Connection サーバにアクセスするために使用できるアプリケーションです。Remote Desktop は、Cisco Platform Configuration ディスクによって自動的にインストールされますが、自動的に有効にはなりません。Remote Desktop を使用する場合は、次の制限事項に注意してください。

- Cisco Unity Connection Server Status ユーティリティにはアクセスできません。
- Cisco Security Agent for Cisco Unity のポップアップ通知は表示されません。アプリケーションをインストールするとき、またはファイルを修正するとき、このことが原因で問題が発生する可能性があります。
- リモートで Connection サーバにアクセスするときに、Remote Desktop の「コンソール」セッションは使用しないでください。Remote Desktop をコンソールモードで実行すると、WAV ドライバが接続クライアントに再マップされます。それによって、電話システムとのテレフォニー連動が失敗します。これは、ドロップされた呼がサーバ上にあることで分かります。
- Remote Desktop を使用すると、一度に複数のリモートセッションがシステムにログオンできます。これは、Remote Desktop の使用時に毎回ログオフすること、またはセッションが終了したときにユーザを強制的にログオフすることで、回避する必要があります。P.A-2 の「[Microsoft Remote Desktop 使用時のログオフ方法](#)」を参照してください。

一般に、VNC は、リモートで Connection を保守する目的で使用する場合に他のアプリケーションより優れています。VNC には制限事項がありません。ただし、リモートクライアントを実行しながら VNC セッションが行われている間は、CPU 使用率がわずかに上昇します。

サービス パフォーマンスに関する問題の発生を回避するには、Connection サーバに中～高の負荷がかかっている間、リモートアクセス プログラムを使用しないようにします。

Microsoft Remote Desktop 使用時のログオフ方法

- ステップ 1** Cisco Unity Connection サーバの Windows の [スタート] メニューで、[管理ツール] > [Terminal Services Configuration] をクリックします。
 - ステップ 2** 左のツリーで、[Connections] をクリックします。
 - ステップ 3** 右のウィンドウで、[RDP-Tcp] をダブルクリックします。
 - ステップ 4** [RDP-Tcp Properties] ダイアログボックスの [Session] タブで、[When Session Limit Is Reached or Connection Is Broken] フィールドを [End Session] に設定します。
 - ステップ 5** [Network Adaptor] タブで、[Maximum Connections] フィールドを **1** に設定します。
-